

あかぎで遊ぼう! vol.2



独立行政法人 国立青少年教育振興機構

国立赤城青少年交流の家

〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山27

TEL: 027-289-7224 FAX: 027-289-7226

✉ akagi-suishinn@niye.go.jp 🌐 <https://akagi.niye.go.jp/>

令和2年3月



独立行政法人 国立青少年教育振興機構

国立赤城青少年交流の家

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

幼児期までに育ってほしい10の姿は、
 幼児教育の達成目標ではなく、
 育ってほしい姿の「方向性」です。
 赤城青少年交流の家の「ササビー広場」や
 「体育館等」での活動の中で、
 幼児の色々な姿が現れてくると思います。
 幼児の具体的な姿を通して、
 「子どもたちの育ち」を捉えてください。



遊んで身に付く36の基本的な動き

体のバランスをとる動き



体を移動する動き



物を操作する動き



●考案/山梨大学教授 中村 和彦氏 (出典:「遊んで身に付く36の基本的な動き Vol.1」国立青少年教育振興機構)

活動の概要 〈日帰り〉



	ササビー広場	室内版
対象	年長・年中・年少児(親子も可)	
時間	1時間～1時間30分程度	
経費	昼食代(食堂で昼食をとる場合 3才以上 440円、大人 550円)	
人数	40人程度(指導者1人あたり、園児6人～10人程度)※事前にグループ分けをお願いします。	
季節	通年	通年 ※雨天時のプログラム

お願い・確認事項

- 持ち込んだ物やそれから出たゴミは、持ち帰りをお願いします。
・売店で買った物やそれから出たゴミは、「食堂」ゴミ倉庫に分別して袋に入れてください。
・注文した弁当のゴミは、「弁当専用ボックス」に入れてください。
- 交流の家までの交通手段については、各園でお願いします。
・一般車は、玄関前のバス駐車場への駐車はできません。(第1・第2駐車場への駐車をお願いします。)
- 「幼児の運動プログラムアンケート」については、後日、事務室に提出してください。(FAXまたは郵送)



持ち物



- 救急箱 ■レジャーシート(お弁当を食べる際・荷物を置く際)
- 保険証のコピー等 ■名簿 ■利用団体票(事務室に提出)



- タオル ■水筒 ■帽子
- 雨具 ■手袋(軍手)
- 履き慣れた運動靴
- 着替え(長袖・長ズボン※ケガ防止のため。暑い場合は薄い長袖シャツを準備し、熱中症の予防を。)
- 虫除けスプレー



服装(活動時)

ササビー広場



室内版



手袋(軍手)

日よけ帽子

体育館履き

お申し込みから前日までの流れ

下見及び事前の打合せをおすすめしております。

ご希望される場合は、あらかじめ電話連絡をしてください。(予約制)

※ご予約について詳しくは、「利用の手引き」またはHPをご覧ください。



事前打合せ

2ヶ月前

1ヶ月前

3週間前

前日

(提出書類はすべてHPからダウンロードできます。)

幼稚園・
保育所等が
行うこと

赤城青少年
交流の家が
行うこと

1 予約申込
※ご希望に添えない場合がございます。

(HPまたは電話)
<https://akagi.niye.go.jp/>
TEL.027-289-7224

2 「活動計画書1・2」を事務室に提出

(FAXまたは郵送)
FAX.027-289-7226

1 「内定通知書」を各園等に送付

(FAX、メールまたは郵送)

2 「利用承諾書」を各園等に送付

(FAX、メールまたは郵送)

3 食堂で昼食をとる場合
「食事申込書、食物アレルギー事前確認票」を食堂に提出

(FAXまたは郵送)
FAX.027-288-7037

プログラム各担当者が、各園等のご担当者と連絡を取り合い、プログラムの時間や内容(雨天時の場合等)、会場等の調整をします。

4 当日の活動グループ作り
(数人~10人程度)

3 「活動日程表」を各園等に送付

(FAXまたは郵送)

利用人数、活動内容に変更が生じた場合

「活動計画書1・2」に変更を書き入れ、再度提出してください。

食事の変更期限

本館食は**当日10:00**、お弁当は**前日12:00**までとなっています。

※キャンセルの場合は、食堂まで電話連絡をしてください。
TEL.027-288-3333

※キャンセル料が発生する場合があります。

天候等で活動内容に変更が生じる場合もあります。その際は、ご相談の連絡をします。



活動日当日

到着時・実施

活動メニュー例

出発時

1 事務室で
入所手続き

※利用者名簿、
利用団体票提出
※提出書類はHPから
ダウンロードできます。

赤城青少年
交流の家

10:00 到着

2

食事を
ご注文されて
いる場合は、
食堂売店に
食数のご確認

利用団体票
(コピー) 提出

食堂

道具の準備・セッティング

道具の準備・セッティングは、
職員と引率者で一緒に行います。

セーフティトーク

職員が行います。

10:30 活動開始

3

【引率者が中心になって】

サーキットタイム

フィールド内の全ての遊びを
体験します。(20~30分程度)

自由遊びタイム

子供たちだけで、
好きな遊びを体験します。
(20~30分程度)

12:00 活動終了

道具の片付け

引率者で片付けを
お願いします。

4

事務室で
退所手続き

アンケートは、
後日、
事務室に提出



(FAXまたは郵送)

5

食事を
ご注文されて
いる場合は、
食堂売店で
お支払い

食堂

ササビー広場MAP



※「ササビーをたすけよう」は
倉庫から道具を出し入れて
セッティングします。

富士見幼稚園

〒 371-0104 群馬県前橋市富士見町時沢2120-8
☎ 027-288-5995

- 実施日— 令和元年 8/27(火) 10:30~11:30
- 参加人数— 5歳児男11名、5歳児女7名、保育者4名
- 活動の様子



ロープを
引っ張ると
簡単に登れるよ



はう



のぼる



つかむ



もつ



ひく



この木の
てっぺんまで
いけるかな



たつ



わたる



ぶらさがる



のぼる



あるく



とぶ



つかむ



ひく

富士見幼稚園
柳 侑里



ここが
オススメ!

緑あふれる広々とした豊かな自然空間。時が経つのを忘れ、どの子ものびのびと遊んでいました。全身を使いながら木登りや丸太渡りなど低構造でありながら、見返りの多い充実感があふれる活動ができます。ここに来ればたくさんの虫にも会えます。

赤城育心こども園

〒 371-0245 群馬県前橋市市之関町401
☎ 027-283-4148

- 実施日— 令和元年 10/2(水) 10:15~12:00
- 参加人数— 4歳児男16名、4歳児女10名、5歳児男10名、5歳児女12名、保育者7名
- 活動の様子



ここが
オススメ!

ゆっくりゆっくり、
どこまで
わたれるかな



のる



たつ



わたる



のぼる



ササビーロープ、
楽しいな



ぶらさがる



のぼる



はねる



つかむ



ひく

赤城育心こども園
柳 美緒

自然の中でさまざまな体験ができ、子供たちが自ら考えて遊ぶ姿が見られました。ひとつの場所でたくさんの遊びが生まれ、友だち同士で教え合ったり、励まし合ったりと子供同士の関わりもありました。自然に囲まれていて、子供たちものびのびと遊べる場所です。

前橋市立宮城幼稚園

☎ 371-0244 群馬県前橋市鼻毛石町1503-1
☎ 027-283-3060

- 実施日— 令和元年 10/23(水) 9:45~11:30
- 参加人数— 5歳児男11名、5歳児女9名、保育者3名
- 活動の様子



手をつないだら
わたることが
できました!



どのくらいまで
登れるか
挑戦しました!



ここが
オススメ!

赤城山の恵まれた自然の中で全身を使った遊びができます。各プログラムは幼児たちが主体的に活動できるちょうどよいレベルに設定されています。きれいな景色や様々な昆虫との出会いなども魅力です。

前橋市立宮城幼稚園
田鍋 祐一

ササビーロープ

♪ 遊び方

- ・ロープをつかんでターザンのように体をゆらします。
- ・ロープから戻った時に、タイミングよくロープからおります。



🔔 気をつけること

- ・並んだ順に1人ずつロープにつかまりましょう。
- ・途中で手を離さないよう気をつけましょう。

坂のぼりチャレンジ



♪ 遊び方

- ・坂の下にスタート地点、坂の頂上にゴールを設けます。
- ・急勾配の坂道を、手と足を使ってバランスよく登ります。

🔔 気をつけること

- ・手のケガを防ぐため、できるだけ手袋(軍手)を着用しましょう。
- ・ぶつからないように順番を守って登りましょう。



はう のぼる つかむ もつ ひく

丸太の山わたり



♪ 遊び方

- ・斜めになった丸太を、手と足を使って登ったりおりたりします。

🔔 気をつけること

- ・次の人との間隔をとり、一方向から登りましょう。



のる たつ わたる のぼる

丸太のかいだん

♪ 遊び方

・高さの違う丸太を手と足を使って登ったりおりたりします。

🔔 気をつけること

・次の人との間隔をとり気をつけて登りましょう。



のる たつ わたる のぼる とぶ

ササビー木のぼり

♪ 遊び方

・木にしがみついたり、登ったり、立ったりします。

🔔 気をつけること

・並んだ順に登りましょう。
・登る高さは自分でおりられるくらいまでに設定しましょう。



たつ わたる ぶらさがる のぼる あるく とぶ つかむ ひく

ササビー橋

♪ 遊び方

- ・落ちないように丸太をわたります。
- ・横歩きもできます。



🔑 気をつけること

- ・丸太を端から端までバランスをとりながら歩きましょう。
- ・落ちてしまったら、またそこから丸太に上がって歩きましょう。
- ・次の人と間隔をとり、一方向から歩きましょう。

ササビーをたすけよう

♪ 遊び方

- ・「ササビーの敵」をめがけてボールを蹴ります。
- ・コーンとコーンの間を通して「ササビーの敵」は倒せます。

🔑 気をつけること

- ・蹴る場所は自分で決めて蹴りましょう。
- ・蹴ったボールは元に戻しましょう。
- ・人に向かってボールを蹴らないように注意しましょう。



※倉庫から道具を出し入れしてセッティングします。
※引率者で片付けをお願いします。

運動あそびMAP(室内配置図)

倉庫(道具入れ)



3 1本橋をわたろう



2 トンネルくぐり



1 おやつをプレゼント



4 ワミの川わたり



8 ホップステップジャンプ



5 けんけんぱ



6 マットでぐるぐる



7 キャタピラー



入口

体育館、アクティビティホール、柔道場、剣道場などの場所で活動できます。

※倉庫から道具を出し入れしてセッティングします。



室内(体育館・アクティビティホール・柔道場・剣道場)

トンネルくぐり



♪ 遊び方

・トンネルをくぐって遊びましょう。

🔔 気をつけること

・友達にぶつからないように気をつけましょう。
・逆から入って来ないようにしましょう。



はう くぐる

1本橋をわたろう



♪ 遊び方

・落ちないように橋をわたり、輪をくぐります。

🔔 気をつけること

・端から端までバランスをとりながら輪をくぐりましょう。
・落ちてしまったら、またそこから橋に上がって、輪をくぐりましょう。
・逆からは進まないようにしましょう。



のる たつ あるく くぐる





ワニの川わたり



♪ 遊び方

・ボールにぶつからないように手を伸ばして這ってぐりまします。

🔋 気をつけること

- ・友達をけらさないように気をつけましょう。
- ・逆から進まないようにしましょう。
- ・腕の力だけで這ってみましょう。



はう



くぐる

おやつをプレゼント



♪ 遊び方

- ・ササビーのおやつをめがけて、上手投げでボールを投げます。
- ・輪の間を通してもおやつは手に入ります。

🔋 気をつけること

- ・投げるときは線の外から投げましょう(届かない場合は調整可)。
- ・投げたボールは元の箱に片づけましょう。
- ・人に向かっては投げないように注意しましょう。



もつ



なげる



あてる

「冒険と創造の森を活用した運動プログラム開発委員会」

① 趣旨

赤城山の南麓に広がる「冒険と創造の森」をテーマにした当施設の敷地全体を活用し、幼稚園・保育園等の幼児が楽しく主体的に体を動かし、幼稚園・保育園等の指導者が「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を意識できる「幼児期の遊びを中心とした運動プログラム」を開発及び試行実施する。

② 委員・事務局 (敬称略。順不同。)

- 深町 穰 (赤城育心こども園 園長)
 檜淵 美緒 (赤城育心こども園)
 柳 晋 (認定こども園富士見幼稚園 園長)
 柳 侑里 (認定こども園富士見幼稚園)
 森田 利夫 (前橋市立宮城幼稚園 園長)
 田鍋 祐一 (前橋市立宮城幼稚園)
 松村 純子 (国立赤城青少年交流の家 所長)

- 福岡 公平 (国立赤城青少年交流の家 事業推進係長)
 田村 文明 (国立赤城青少年交流の家 企画指導専門職)
 山下 順子 (国立赤城青少年交流の家 事業推進係員)

③ 内容

	日時	内容
第1回	令和元年 7月5日(金)	委員会趣旨説明 試行実施、ササビー広場視察
第2回	令和元年 12月11日(水)	試行実施の検証 冊子及びDVDの構成検討
第3回	令和2年 2月13日(木)	冊子の内容確認 普及方策の検討

本ガイドブックの活用について

本年度は、幼児の遊び場である「ササビー広場」がオープンしました。それに伴い「冒険と創造の森を活用した運動プログラム開発委員会」を設置し、左記委員と共にササビー広場の活動プログラム開発とその活用について、試行を重ねてまいりました。

このガイドブックのコンセプトは、昨年度と変わらず遊びが持つ魅力を引き出す「場」と「きっかけ」です。遊びがもつ魅力を引き出す「場」については、赤城のササビー広場という「場」、荒天時の体育館等の「場」をイメージしています。「きっかけ」は、園児のやってみてほしいという「きっかけ」、園児が繰り返し遊ぶ中で、想像力を膨らませ、新たな遊びの展開を引き出す「きっかけ」をイメージしています。

本ガイドブックは、保育者の皆さんが、活動をしてみたいという思いが実現できるよう「持ち物」「園児の服装」「申し込みから当日までの流れ」等が記載されています。

このガイドブックを手にしていただいている保育者の皆さんに、赤城青少年交流の家の「ササビー広場」で園児たちを遊ばせたい、園児たちを連れていきたいと思って頂けたらと思います。

その後、園庭や園内のプレイルーム等で日常的に様々な運動遊びが広がる事を願っています。



国立赤城青少年交流の家 所長 松村 純子